

○評価基準表

評価項目	点数	評価の着眼点
企画の内容	5	環境課題の解決につながる研究（次のいずれか一つ以上を満たしている）か <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ニーズ把握ができています</li> <li>・ 期限内に成果が期待できる</li> <li>・ 本市の環境改善に役立つものである</li> <li>・ 市内の産業振興に役立つものである</li> <li>・ 国際貢献に役立つものである</li> </ul>
実現性	5	研究計画が具体的で、かつ実現の可能性がある（次の全てを満たしている）か <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究を実施する上で必要な知識や経験を持っている</li> <li>・ 研究に携わる人員等、必要な実施体制を確保している</li> <li>・ 実施方法、スケジュールが具体的に示されており、実施が可能である</li> </ul>
新規性・独自性	5	先進的・革新的な研究（次のいずれか一つ以上を満たしている）か <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 類似の技術や研究がない</li> <li>・ 既存の技術や研究ではあるが、独自性があり、社会実装につながるものとして期待できる</li> <li>・ “川崎モデル” としての発信が可能である</li> </ul>
社会実装の可能性	5	研究期間及び終了後の展開について考えられているか <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品化、事業化、地域展開など社会実装に向けた活用策が期待できる</li> </ul>
妥当性	5	見積額の積算が適正（次の全てを満たしている）か <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 不明瞭な経費が計上されていない</li> <li>・ 過大又は過小な経費の見積がされていない</li> </ul>
合計	25	25 点満点
<p>評価項目ごとに5点満点とし、絶対評価による客観的採点を行う。          ◆ 評価点〔優秀:5点、良好:4点、普通:3点、やや劣る:2点、劣る:1点〕          ◆ 基準点:満点の半分</p>		

※研究分野について

脱炭素社会の実現に向けて、脱炭素化技術・製品の開発などの推進が急務となっています。そこで今年度は、共同研究者の知見が特に必要で特定期間内に成果を得ることが期待できる脱炭素化に向けた研究・開発を募集します。

- 再生可能エネルギーの普及拡大に資する技術開発・実証
- 家庭やオフィスビル等における効果的かつ新たな省エネ対策の提案・実証
- 工場・事業場等における CO<sub>2</sub>排出削減に資する技術開発・実証  
 (例:新たな生産技術・生産工程の開発、工場排熱など未利用エネルギーの有効活用など)
- 農地からの温室効果ガス削減に資する次世代農業等の技術開発・実証